

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



安心安全な薬物療法と笑顔



特集

薬剤部のご紹介

- VOICE
- 医学シリーズ 腎臓内科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構

熊本医療センター

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター

検索

ホームページ QR コード

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

特集 薬剤部のご紹介

熊本医療センター薬剤部は待望の新人を4月より2名、6月に1名を加え、薬剤師33名、薬剤助手4名の計38名のスタッフで、24時間体制で業務に臨んでいます。主な業務内容としては調剤業務、製剤室業務、医薬品情報室(DI室)業務、薬物血中濃度モニタリング(TDM)業務、病棟業務、抗がん剤調製業務、治験業務などの業務を行っています。また医師の負担軽減を図る目的でのプロトコルに基づく薬物治療管理(Protocol Based Pharmacotherapy management ; PBPM)を計画・実践しています。

他職種と連携したチーム医療(栄養サポートチーム(NST)、感染対策チーム(ICT)、抗菌薬適正使用支援チーム(AST)、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、精神科リエゾンチーム)にも積極的に参加し専門性を発揮しています。さらに糖尿病教室、肝臓病教室での患者教育にも積極的に取り組んでいます

令和2年3月より新外来棟への化学療法センターの移設にともない調製室も一新し、セントラル化されたことで、がん化学療法に特化した体制が整備されました。

外来化学療法等における薬剤師外来には専任の薬剤師を配置しており、外来にて化学療法を受ける患者の薬剤管理指導、副作用のチェックなどを行い、より安全ながん化学療法を支援しています。

新たな取り組みでは、昨年度途中より、薬薬連携の一環として、外来抗がん剤治療を行う産婦人科の患者さまを対象に、薬局薬剤師との連携ツールとして服薬サポートの導入を開始し、有害事象に早期に対応できる体制(テレフォンフォローアップ)を構築しました。現在はまだ一部の診療科の一部の治療をおこなっていますが、今後もニーズに合わせて拡大していきたいと考えています。

我々熊本医療センター薬剤部は、これからも患者さまに、よりよい医療を提供できるように地域の医療機関との連携強化を目指して取り組んでいきます。

薬剤部長
みなもと やすのり
湊本 康則

専門医・所属学会など
認定実務実習指導薬剤師
崇城大学薬学部講師
熊本県病院薬剤師会理事
国立病院機構九州地区薬剤師会幹事
国立病院機構九州地区薬剤師会副会長
日本医療薬学会
日本病院薬剤師会



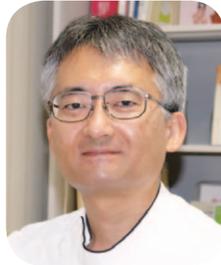
VOICE

登録医の声



社会福祉法人聖嬰会
イエズスの聖心病院

院長 **木村 哲也**



◆ 貴院のアピールをお願いします

当院は、熊本市西区、本妙寺の近隣にあります。1994年に熊本県で初めて緩和ケア病棟を開設しましたが、2023年2月に38床の医療療養病棟をみこころ介護医療院に転換し、ホスピス単科の病院となりました。緩和ケア、看取りを中心とした訪問診療を積極的に行っており、外来通院ができるときはがん療養外来（緩和ケア内科外来）で、通院が困難な時は訪問診療で、自宅での療養が困難な時は、緊急時も含めてみこころホスピス（緩和ケア病棟：37床）で支援する体制をとっています。

◆ 先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

子供が手を離れ始めたこともあり、4年前から犬（バグ）を飼い始めました。毎朝の散歩とエサやりが日課になりましたが、思いのほか楽しくできています。お勧めスポットは南阿蘇にある道の駅あそ望の郷くぎのです。比較的近いわりに自然を十分感じることができ、ドッグランもあるのでよく利用しています。

◆ 当院へのご要望をお聞かせ下さい

当院はホスピス単科であり、医療面では限られたことしかできません。積極的な治療を希望されている方の治療を継続しながらの併診や、各種検査、緩和的放射線療法など、高度急性期病院として当院ができない部分をよく補っていただいております。感謝しかありません。いつもありがとうございます。



【診療科目】

緩和ケア内科

【診療時間】

月～金 9:00～12:00 / 14:00～17:00

【休診日】

土、日、祝、宗教祭日（8/15・12/25）
年末年始（12/29～1/3）

【住所】

〒860-0079 熊本市西区上熊本2丁目11-24

【TEL】

096-352-7181

【FAX】

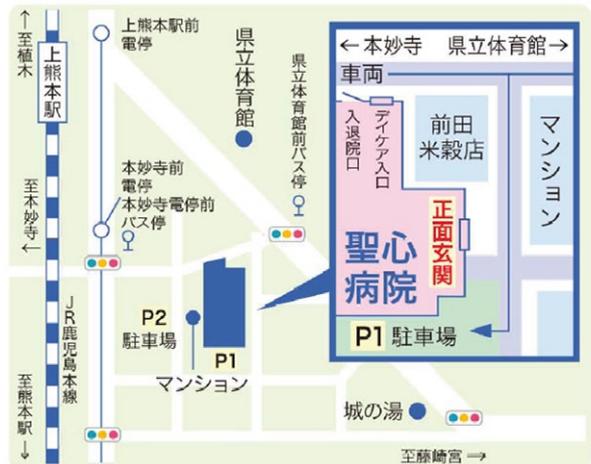
096-352-7184

【ホームページ】

<https://www.mikokorohp.com>

◆ 交通アクセス ◆

- 熊本都市バス：本妙寺電停前より徒歩1分
県立体育館前より徒歩2分
- 九州産交バス：本妙寺電停前より徒歩1分
- 熊本市電：本妙寺前電停より徒歩2分



最近のトピックス

抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎について

国立病院機構熊本医療センター
腎臓内科医師

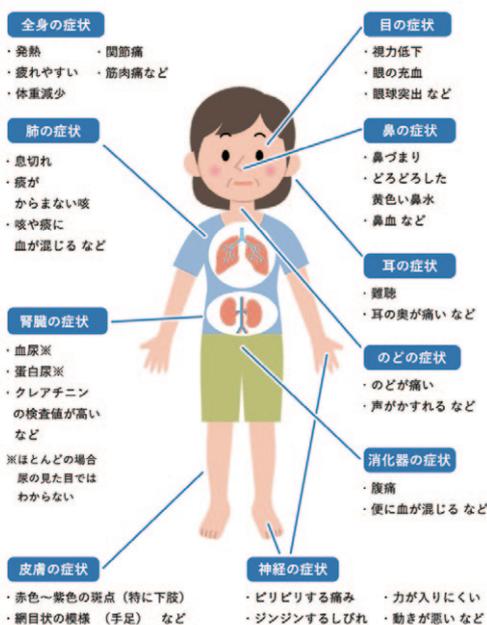
よしい りゆういち
吉井 隆一



抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎とは

ANCA 関連血管炎の患者数は国内で約 20,000 人 (6,000 ~ 7,000 人に 1 人) であり、関節リウマチの約 80 万人と比べて非常に少ない病気であることが分かります。ANCA 関連血管炎は、好中球を標的とする自己抗体の一種である ANCA が血液中に現れ、好中球に結合してその正常な機能を失わせ、周囲の血管を攻撃することで発症します。この結果、主に全身の細い血管に炎症が生じ、血管が破れたり詰まったりする血管炎が引き起こされます。最近ではここに補体、特に C5a が好中球を炎症部位に呼び寄せる走化性因子として働くことが分かってきました。これにより全身に多様な症状が現れ、微熱や倦怠感が続くほか、腎臓や肺、皮膚、神経、鼻、耳、目などの異常も見られます (図 1)。特に重症の場合は、腎機能が低下し、透析治療が必要になることもあるため早期診断と適切な治療が重要です。

図 1



ANCA 関連血管炎治療の新しい選択肢

ANCA 関連血管炎の治療は、初期の数カ月間は炎症を抑えこむ寛解導入療法を行います。その後、寛解を維持し、再燃を防ぐための維持療法を続けます。寛解導入療法はこれまで主にステロイドとリツキシマブが用いられてきました。ステロイドには炎症を抑える作用がある一方で、感染症、糖尿病、骨粗鬆症などの副作用が多くあります。これまでも ANCA 関連血管炎の治療は奏効したもの、副作用によって患者さまが苦しまれるといったことを数多く経験いたしました。そんな中、2021 年 9 月に日本で承認された選択的 C5a 受容体拮抗薬アバコパン (商品名: タブネオス®) の投与によって寛解導入療法における有効性の向上や治療関連の副作用の軽減につながる可能性が注目されています。アバコパンは前述した C5a の受容体を阻害することで、好中球の過剰な働きを抑えることができ、抗炎症作用を発揮すると考えられています。アバコパンを併用することで、これまで使用していたステロイドの投与量を減量することができ、結果としてステロイド関連の副作用が軽減できるというものです。ADVOCATE study (NEJM 2021;384:599-609.) でもその効果が実証されており、ANCA 関連血管炎の治療は新時代に突入しています。特に腎機能障害の強い患者ほどアバコパンを併用した方が腎機能の改善が見られています (Kidney Int Rep (2023) 8, 860-870.)。当院での 2018-2023 年に行った自験でもアバコパンの投与によってステロイドの平均投与量を有意に抑えつつ、治療効果は高用量のステロイド薬のみを投与した群と変わらない成績を出すことができました (図 2,3)。また副作用についてもステロイド関連の副作用が減少するなど、アバコパンの効果を身をもって経験しており欧州腎臓学会・日本腎臓学会に報告致しました。ANCA 関連血管炎は治療開始時期によって治療経過が大きく変わるため、迅速な診断と治療開始が予後に大きく影響します。少しでも疑われる所見がございましたら是非とも当院にお気軽にご紹介ください。当院腎臓内科はタブネオス導入患者数が日本有数であり、豊富な臨床経験をもっております。ステロイドを極力減量する時代の最先端医療をご提供し、さらなる予後と QOL の改善を目指します。

ANCA 関連血管炎の治療成績

図 2 タブネオス併用・非併用での BVAS

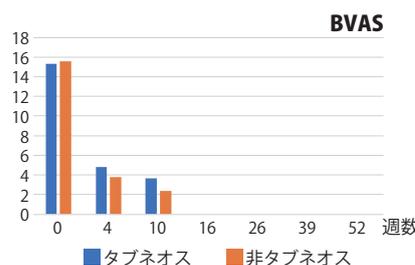
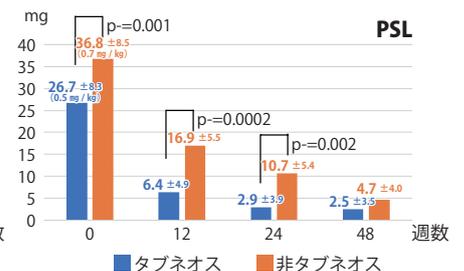


図 3 タブネオス併用・非併用でのステロイド投与量の比較



[参考] <https://www.kissei.co.jp/anca/knowledge/about/> から引用

くまびょう TOPICS

6/19 (水) | 季節の糖尿病教室を開催しました！ **栄**

【筆者】管理栄養士：佐々木 沙彩



6月19日に、年3回の「季節の糖尿病教室」を開催しました。食事会では、天ぷらをメインにした夏御膳を提供しました。天ぷらは吸油率を抑えるよう、調理師と話し合いを重ねました。他にも、当院で大人気のタコとセロリのマリネや旬の熊本スイカを提供し、参加者からは夏らしい献立を喜ぶ声が聴かれました。

講義では、食材や料理の栄養素についてお話ししました。参加者からは、「食品の分類なんて気にしたことはなかった」というお声もあり、自身の食生活を振り返るきっかけになったのであれば幸いです。血糖コントロールを行う中で、少しでも食事への楽しみが増える工夫をお伝えできるよう、これからも情報発信していきます。

【場所】地域医療研修センター 研修室



6/22 (土) | 熊本県看護協会長を受賞しました **看**

【筆者】がん相談支援センター看護師：田中 富美子



この度、熊本県看護協会長の受賞者に選ばただけましたことを大変光栄に思います。看護協会の研修での学びや委員会でお世話になった方々は、今でも大切な宝物です。この表彰は身に余る栄誉であるだけでなく、看護師人生を振り返るよい機会となりました。これまで支えてくださった皆さま、ご推薦くださった皆様には本当に感謝しかございません。いただいた賞に恥じないよう、今後も自己研鑽に努めてまいります。

【場所】熊本県立劇場



6/25 (火) | ひまわり会について 

【筆者】泌尿器科医師：前田 喜寛
皮膚・排泄ケア認定看護師：河端 真弓



6月25日に当院泌尿器科で尿路ストーマ患者会「ひまわり会」を開催し、約40名の患者様やご家族が参加されました。COVID-19流行により一時休会していましたが、再開を望む声が多く、4年ぶりの開催となりました。ひまわり会は当院泌尿器科で尿路ストーマを造設された方を対象に平成5年に発足した患者会で、現在の会員数は101名です。ひまわり会では、患者様同士の交流、医療者からの情報提供を行っております。今回は「災害時のストーマケア」について、河端皮膚・排泄ケア認定看護師が講演を行いました。また、意見交換の場では熊本地震での体験談について聞くことができ、非常に有意義で学び多き会となりました。会の終了後には、同じ病気になった仲間と集まることが有難いといった声や、体験談を聞き励まされるという感想が聞かれました。今後もひまわり会が患者様にとって健康維持や親睦などお役に立てるよう定期的に運営していきたいと考えております。

菊川 浩明、前田 喜寛、柏木 千穂、香月 麗、河端 真弓
【場所】熊本医療センター 地域医療研修センターホール



Medical Intern Report 研修医レポート

臨床研修医

うの ゆきこ
宇野 由希子



こんにちは。研修医1年目の宇野由希子と申します。群馬大学医学部を卒業し生まれ育った熊本に戻ってきて早くも三ヶ月が経とうとしています。新社会人としての毎日は多忙で分からないことの連続ですが、スタッフの皆様のおかげで充実した日々を過ごせております。

私は麻酔科から研修が始まりました。先生方は右も左もわからない私にから丁寧に教えてくださり、麻酔科としての知識や技能だけでなく医師としての基礎も身につけることができ大変感謝しております。具体的に麻酔

科の業務の中では気管挿管や末梢静脈路確保、動脈ライン確保、脊髄くも膜下麻酔などの手技を経験することができました。学生時代に知識として頭に入っていたことも実際に取り組んでみると非常に難しく、一つ一つの動作に深い意味があることを実感しておりました。また輸液の仕組みやバイタルサイン・モニターの管理を教えていただく中で患者さまの状態評価や全身管理についても学ぶことができ、多岐に渡り知識を深めることができた6週間となりました。

麻酔科研修後、現在は腎臓内科にてお世話になっており、前回と大きく変わって内科的病棟管理や透析を中心にご指導いただいております。カルテの書き方や薬の管理や処方について教えていただき病棟業務にも少しずつ慣れてきております。また病棟では一人ひとりの入院患者さまと多くコミュニケーションを取ることができるため日々の会話の中で治療を模索するなど新しい医療の側面を学ぶことができ、恵まれた環境の中で研修できることをありがたく感じています。

不慣れなことが多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるとは思いますが、皆様のお役に立てるよう日々精進してまいりますので二年間よろしくお願いたします。

臨床研修医

たかはし ゆうき
高橋 祐貴



こんにちは。研修医1年目の高橋祐貴と申します。4月より熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。社会人生活が始まり、毎日があっという間で、充実した日々を過ごせていると感じています。

私は血液内科から研修が始まりました。最初の1ヶ月は病院内のフロアやカルテなどのシステムが全然分からず、ご迷惑をおかけすることばかりでしたが、先生方やスタッフの方々に優しく丁寧に教えていただき、少しずつではありますが慣れていくことができました。血液内科では毎日の回診や手技、カンファレンスでのプレゼンテーションなどを経験させていただきました。大学の実習と違い、長期間にわたって患者さまを担当することもあり、

患者さまが訴えられている内容や検査結果などの経過を見ていくことの重要性を実感しました。また、手技も経験させていただき、実際に行うとかなり難しいものばかりでしたが、先生方に教えていただき、貴重な機会になったと思います。

現在は麻酔科でお世話になっています。手術前の麻酔の準備やルート確保、術中の麻酔管理などを勉強させていただいております。ルート確保や挿管、マスク換気など多くの手技があり、先生方のご指導で、まだまだではありますが少しずつ慣れてきたように感じています。

当直業務として、救急外来での業務も始まりました。最初は患者さまが搬送されてきても何もできず呆然としましたが、先輩方や先生方、スタッフの方々にご指導いただき、まだまだではありますが少しずつ増えているように思います。

これからご迷惑をおかけすることもたくさんあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

臨床研修医

たけなか さとが
竹中 理嘉



こんにちは。研修医1年目の竹中理嘉と申します。今年の3月に熊本大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。社会人としての生活も約3ヶ月経ちますが、新しいことの連続で、大変恵まれた環境で学びの多い日々を過ごせております。

私の研修は外科から始まりました。外科の先生方に手厚いご指導をいただき、とても楽しく充実した7週間を送ることができました。外科の研修では、助手として手術に入り、腹腔鏡手術のカメラ持ちや埋没縫合などをさせていただきました。イメージと実際に手技をするのとは難易度が全く異なり、練習を重ねる中で執刀される先生方の凄さを実感する毎日でした。

また、外科では1日が終わった後もオンコールと呼ばれる緊急症例の手術があり、救命のためのスピード感を感じることができる研修でもありました。さらに、手術のみならず周術期管理についても学ぶことができ、毎日の回診で患者さまの状態を把握しその原因を考えて対応することの大切さを実感しました。

外科研修を終えて、現在は糖尿病代謝内科で研修させていただいております。カルテを書いたり糖尿病薬の調整をしたりなどの病棟業務が増え、初めての内科研修でご迷惑をおかけしてしまうことも多々ありますが、先生方が優しくご指導して下さるおかげで、少しずつ病棟業務にも慣れてつづきます。残り2、3週間ではありますが、血糖管理の方法や内分泌疾患についてより多くの知識を身につけたいと思います。

初期臨床研修の2年間、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、少しでも皆様のお役に立てるよう、日々努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

2024年8月 研修のご案内

二の丸モーニングセミナー

日時▶ 8月1・22・29日(木) 8:15～8:45
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第66回 熊本摂食・嚥下リハビリテーション研究会

日時▶ 8月6日(火) 19:30～21:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「口腔ケア用品の詳細説明」

座長 鶴田病院 / 言語聴覚士 小田原 守 先生
演者 本町ごとう歯科院長 / 歯科医師 後藤 千恵 先生
演者 江南病院 / 歯科衛生士 中村 加代子 先生

第39回 メディカルスタッフのための人工呼吸セミナー

日時▶ 8月17日(土) 8:50～16:20
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

〈講演1〉呼吸生理の知識と血液ガスの見方

国立病院機構九州医療センター救命救急センター長 野田 英一郎 先生

〈講演2〉人工呼吸を要する各種病態とフィジカルアセスメント

久留米大学医学部医学科救急医学講座主任教授 / 久留米大学病院高度救命救急センター長
高須 修 先生

〈講演3〉スタッフが知っておかなければならない各種換気モードと特徴について

国立病院機構熊本医療センター診療科部長・救命救急部長 櫻井 聖大

〈講演4〉一步すすんだ呼吸管理法 ～医療安全・感染制御・PAD マネジメントの観点から～

山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学講座教授 / 医学部附属病院先進救急医療センター長
鶴田 良介 先生

第166回 公開看護セミナー

日時▶ 8月24日(土) 13:00～15:30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「急性期から始めるエンド・オブ・ライフ・ケア

～かけがえのない患者と家族のLife(命・生命)に伴走するパートナーとして～

講師: 国立病院機構九州がんセンター 緩和ケアセンター看護師長
ジェネラルマネージャー がん看護専門看護師 安永 浩子 先生

第204回 救急症例検討会

日時▶ 8月28日(水) 18:00～19:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「消化器系救急疾患」(消化器内科・消化器外科)

第110回 特別講演

日時▶ 8月29日(木) 18:30～20:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

【日本医師会生涯教育講座 1.5 単位認定】

座長: 国立病院機構熊本医療センター臨床研究部長 富田 正郎

演題: 「これからのCKD診療に求められる治療戦略と研究の展望」

講師: 熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学講座教授 横井 秀基 先生

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター
QRコード▶



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和6年8月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 田口 詢	樋口 悠介 渡辺 美穂	日高 博之 道弘 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 瀨戸口 真衣 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器科	熊大医師 (院内コンサルト)					
	感染症内科	小野 宏					
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	東 大樹	富田 正郎	
腫瘍内科	境 健爾	境 健爾 榮 達智	境 健爾 榮 達智	境 健爾 榮 達智	境 健爾 (2.4週) 達智		
消化器病センター (消化器内科)	診察	1診	楠本 周平	杉 和洋	杉 和洋	立山 雅邦	
		2診	松山 太一	立山 雅邦	花園 ゆりか	花園 ゆりか	
		3診	山本 祐弥	赤木 由理恵	楠本 周平	佐々木 大堯	
	内視鏡	午前	立山 雅邦 佐々木 大堯 花園 ゆりか 赤木 由理恵	松山 太一 佐々木 大堯 山本 祐弥	松山 太一 楠本 周平 山本 赤木	立山 雅邦 佐々木 大堯 花園 ゆりか 山本 赤木 (赤木 由理恵)	松山 太一 楠本 周平 山本 赤木 赤木 由理恵
		午後	立山 雅邦 佐々木 大堯 花園 ゆりか 赤木 由理恵	松山 太一 佐々木 大堯 楠本 周平 山本 祐弥	立山 雅邦 松山 太一 楠本 周平 山本 赤木	立山 雅邦 佐々木 大堯 花園 ゆりか 山本 赤木 岡本 赤木	松山 太一 楠本 周平 山本 赤木 赤木 由理恵
	腹部超音波	杉 和洋	花園 ゆりか	立山 雅邦	岡本 赤木 有紀子 由理恵	杉 和洋	
心血管センター (循環器内科)	新患	木村 優一 山村 智	玉野井 俊介 有馬 義博 (隔週)	片山 哲治	田山 信至	松原 純一	
	再来	田山 信至	松原 純一	山村 智	玉野井 俊介 有馬 義博 白尾 友宏	片山 哲治 木村 優一	
(心血管外科)	手術日 岡本 健						
精神・神経科	初めの方						
	2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	興梠 雅彦	水上 智之	水上 智之	渡邊 優	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	右田 昌宏		横山 智美		右田 昌宏	
	アレルギー		渡邊 優				
外科		原田 和人 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 明日香 小野	岩上 志朗	宮成 信友 黒木 秀幸	久保田 竜生	
	脳神経センター (脳神経外科)	中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	内川 裕貴 大塚 忠弘	中川 隆志	伊東山 剛 大塚 忠弘	
(脳神経内科)	1診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
	2診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
整形外科	午前	1診	満瀬 葉介 (新患)	手術日	前田 智 (新患)	寺本 周平 (新患)	
		2診	福元 哲也 (新患)		福元 哲也 (新患)	中馬 東彦 (新患)	
		3診	福田 和昭 (新患)		福田 和昭 (新患)	東 宗一郎 (新患)	
	午後	1診	寺本 周平 (再診)		松下 祥大 (再診)	満瀬 葉介 (再診)	
		2診	福元 哲也 (再診)		東 宗一郎 (再診)	中馬 東彦 (再診)	
		3診	福田 和昭 (再診)				
泌尿器科	前田 喜寛 (毎週) 矢野 大輔 (1.3.5週) 鮫島 智洋 (2.4週)	菊川 浩明 高橋 智洋 鷲島 えりか	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 矢野 大輔 村上 崇敏	菊川 浩明 渡辺 崇 / 担当医		
産婦人科	高木 みか 瀬尾 優太郎	山本 直 前田 菜々	手術日	高木 みか 瀬尾 優太郎	山本 直 前田 菜々		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 中原 敦子 幸野 理久	(手術日)	榮木 大輔 中原 敦子 幸野 理久	(手術日)	榮木 大輔 中原 敦子 幸野 理久		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 寺田 夕希	手術日	担当医	上村 尚樹 寺田 夕希		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	石橋 卓行	牧野 公治	浦田 和美	担当医 (手術日)	哈 斯塔 (ハスタ)	
	再診 (初診 その他)	浦田 和美 石橋 卓行	哈 斯塔 (ハスタ) 牧野 公治	石橋 卓行 浦田 和美		牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	
難治性皮膚疾患治療センター	午前10時～、1日1例限定 詳細は、熊本医療センター皮膚科 Web サイトをご覧ください						
形成外科	(午後)	大島 秀男 (リンパ浮腫外来)	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 蓮田 敏也	
	(午後)	蓮田 敏也					
放射線科	治療 (予約制)	富高 悦司、大塚 崇裕					
	画像診断	根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、神戸 あゆみ、大塚 崇裕、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)					(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	境 健爾	境 健爾	境 健爾	境 健爾 (1.3.5週)	境 健爾 (2.4週)		
歯科 口腔外科	森 久美子 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 森 久美子 森 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 東 上田 夏野	中島 健 谷口 東 上田 夏野	中島 健 谷口 東 上田 夏野		
	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之		
救命救急センター							
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	がん看護	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	移植後フォローアップ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	

(注) 担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R6/8/1